

科目分類	専門基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月		
科目名	解剖生理学Ⅰ(呼吸・循環)	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	医師 (循環器内科勤務)	講義時限	28時限	試験時間・配点	2時限 100点

◆学習目標

解剖生理学の基礎知識として、人体の基本単位について学ぶ。

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	1	細胞、組織、器官 体液とホメオスターシス	教科書やプリントを用いた講義	人体の構造や機能を理解 血液の組成と機能
	2	血液とリンパ		
	3	呼吸器の構造、内呼吸と外呼吸	パワーポイントを用いて	リンパ循環の役割
	4	呼吸運動		
	5	呼吸器量		
	6	ガス交換とガス運搬	パワーポイント使用	
	7	肺の循環と血流		
	8	呼吸運動の調節		
	9	血液の循環とその調節 ・循環器系の構造 ・心臓の構造		
	10	心臓の拍出機能 ・心臓の興奮とその伝導、刺激伝導系 ・心電図 ・心臓の収縮・心周期		
	11	血液の循環とその調節 1) 心臓の拍出機構 2) 末梢循環系の構造		
	12	血液の循環とその調節 1) 末梢循環系の構造 2) 血液の循環の調節		
	13	血液の循環とその調節 1) 血液の循環の調節		
	14	血液の循環とその調節(つづき) 1) 循環器系の病態生理、主要症候 2) リンパ系とリンパ管		
	15	全単元終了後試験		

◆教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)

◆参考文献

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	専門基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月～6月		
科目名	解剖生理学Ⅱ(消化器系)	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	医師 (外科勤務)	講義時限	28時限	試験時間・配点	2時限 100点

◆学習目標

消化器系の解剖生理の理解

	回	授業内容	授業方法	学習課題
授 業 計 画	1	消化器全般について		
	2	消化・吸収について	概説	
	3	・外分泌腺・内分泌腺について	講義	
		胃、小腸、大腸の構造機能	DVDを供覧	
	4	・肝、胆、膵、十二指腸の位置	講義	
		・胆摘術のDVDを供覧	DVDを供覧	
	5	排便のメカニズム	講義	
		・肝機能(役割)	DVDを供覧	
	6	・肝の血流循環	講義	
		胃切除術のDVDを供覧 (大網、膵、肝、腸の勉強)	DVDを供覧	
	7	腸間膜、後腹膜臓器	講義	
		・食道、直腸手術のDVDを供覧	DVDを供覧	
	8	腎・泌尿器系の構造と機能	講義	
	9	排尿路の構造	DVDを供覧	
		・尿の貯蔵と排尿		
10	体液の調節と尿の生成			
	男性生殖器の構造と機能			
11	女性生殖器の構造			
	女性生殖器の機能			
12	内分泌による調節			
	全身の内分泌腺と内分泌細胞			
13	ホルモン分泌の調節	パワーポイント・講義		
	ホルモンによる調節の実際	教科書 p22～p36		
14				
15	全単元終了後試験			

◆教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)

◆参考文献

◆成績評価の方法 筆記試験

科目分類	専門基礎分野	開講年次・時期	1年次 5月～8月		
科目名	解剖生理学Ⅲ	単位数	1単位	時間数	30時限
担当講師 (実務経験)	医師 (整形外科勤務)	講義時限	28時限	試験時間・配点	2時限 100点
◆学習目標 運動器に関する解剖・生理学的知識を理解する。					
授 業 計 画	回	授業内容	授業方法		学習課題
	1	骨格とはどのようなものか	講義		
	2	骨の連結			
	3	骨格筋	講義		
	4	上・下肢の骨格と筋			
	5	筋の収縮			
	6	体幹の骨格と筋			
	7	頭頸部の骨格と筋			
	8	脊髄と脳について			
	9	大脳の構造と機能			
	10	脊髄神経と脳神経			
	11	運動機能と下行伝導路	講義		
	12	感覚機能の上行伝導路			
	13	皮膚とは何か(構造と機能) 生体防御機構のしくみ 体温調節のしくみ(熱の産生と放散、調節方法)			
	14	耳の機能と構造 鼻・咽頭の機能と構造			
15	全単元終了後試験				
◆教科書 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)					
◆参考文献					
◆成績評価の方法 筆記試験 全単元終了後					

科目分類	専門基礎分野	開講年次・時期	1年次 4月～7月		
科目名	生化学	単位数	1単位	時間数	30時間
担当講師 (実務経験)	薬剤師(臨床実務 経験あり)	講義時間	28時限	試験時間 2時限	配点 100点
◆学習目標 人体の構成成分である物質の性状、代謝のメカニズムを学び人の生命現象を科学的に理解する。					
		授業内容	授業方法	学習課題	
授 業 計 画	第1回	◆講義項目1) 細胞の構造と機能 ◎生体の成り立ちと細胞の役割について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書中心の講義 ・参考資料、自己学習用復習プリント問題の配布等を講義の進行に合わせて行う。 ・前回講義の理解度確認のための復習テストを行う。(講義の進行状況により判断する。) ・講義項目2)については過去国家試験出題された経緯もあり重点的に講義を行う。 ・講義項目3)4)については過去国家試験出題された経緯もあり重点的に講義を行う。 ・生化学本試験のに向けた夏期休暇自習問題プリント配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の高校過程の化学・生物分野の履修状況の確認 ・生体の成り立ちを構成する物質について細胞レベルで理解を深める。 ・生化学を学ぶ上で必要な基礎知識を理解する。 ・将来看護の現場で必要される生化学の基礎知識を習得する。 ・過去国家試験にて出題頻度の高い分野は重点的に講義 	
	第2回	◎生体を構成する物質			
	第3回	・第1章「生化学を学ぶための基礎知識」			
	第4回	・第2章「代謝の基礎と酵素・補酵素」 ・三大栄養素の代謝の概要 ・酵素・ビタミンの基礎知識			
	第5回	◆講義項目2) 生体内の物質代謝 ・第3章「糖質の構造と機能」			
	第6回	・第4章「糖質代謝」 ・第5章「脂質の構造と機能」			
	第7回	・第6章「脂質代謝」 ・第7章「タンパク質の構造と機能」			
	第8回	・第8章「タンパク質代謝」 ・第9章「ポルフィリン」 ◆第2章から第9章まで総復習			
	第9回	・代謝関連の補足的講義 ◆講義項目3) 遺伝情報 ・第10章「遺伝子と核酸」			
	第10回	・第11章「遺伝子の複製・修復・組換え」 ◆講義項目3) 遺伝情報 ・第11章「遺伝子の複製・修復・組換え」			
	第11回	・第12章「転写」			
	第12回	・第13章「翻訳と翻訳後修飾」 ◆講義項目4)内部環境の恒常性 ・第14章「シグナル伝達」			
	第13回	・第14章～第15章「がん」			
	第14回	・講義全般に渡る復習 ・講義全般に渡る復習 ・復習プリントの解説等			
	第15回	・夏期休暇自習プリント配布 生化学本試験(90分 100点)			
使用教科書 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能(2) 生化学 医学書院					